

「春よ来い!!!」 2025 03

自主上映のお願い!

昨年、50年がかりで完成した「奈緒ちゃんシリーズ」最新作『大好き～奈緒ちゃんとお母さんの50年～』、この春から各地で自主上映を拡めたいと考えています。

これまで上映に取り組んでいただいた方々も、初めての方も、ぜひ新作『大好き』の自主上映をヨロシクお願いいたします。

…という手紙を、各地のいせフィルム支援者の方々に向けDMした。何としてでも自主上映を拡めなければ、という切羽詰まった思いを込めてのこと…反応を心待ちにしているところだ。

実際には『大好き』の自主上映は昨年秋から始まっており、観た方の手応えは充分だ。そのうちのいくつかを紹介しよう。

今年に入ってから二度にわたって自主上映を手がけてくれた滋賀県にある「びわこ学園」は、日本の障がい者施設の先駆けのような存在のひとつで、“この子らを世の光に”という考えのもとに、障がいのある一人ひとりを育ててきた。

「びわこ学園」の活動を記録した映画『夜明け前の子どもたち』（1968年製作）を『奈緒ちゃん』を撮ったカメラマン、瀬川順一さんが撮影していたことが縁で、『大好き』を地元の大津と野洲でいち早く上映してくれた。

映画に共感してくれ、これからも自主上映に取り組みたいと言ってくれている。

昨年、北九州大学と早稲田大学での『大好き』上映がスコブル好評だったので、大学連続上映のような自主上映に取り組み、これを機に大学でのドキュメンタリー上映のネットワークを作ってみよう、という企画も立ち上げようとしている。

ドキュメンタリーを若者は観ないから…と言う映画関係者もいるけど、そんなことはない。

観せようとしていないだけだと思う。若い世代にドキュメンタリーを観てもらうために、学校に映画を持ち込もう、という作戦だ。

大学連続上映の呼びかけに、すでに十ヶ所近い学校の先生たちの手が挙がっている。学校では「教室」というシアターを使った上映が可能なものだから…。関心がある先生方、ご一報ください。

都内新宿区の住宅街での家庭のリビングを使った自主上映もとてもヨカッタ。今年でもう四年目になるハウスシアターの試みだった。上映機材を持ち込み、窓を全て黒紙で覆って、真っ暗にしたの上映会。主催者の友達や近所の方々15人程が集まってくれ、上映後にはそれぞれが持ち寄った差し入れを食べ呑みながら映画を語り合う、贅沢な気分させてくれるハウスシアター上映会…。

どんな家でもできそうな気がするから、やってみませんか？

スペースがあり、何よりヤル気があればどこでも映画館になる。それぞれの場所で、それぞれの工夫を凝らした上映会に挑戦してみたい。映画を創ることだけでなく観せることは楽しい…。もちろん大変なこともあるけど。

上映活動は、いせフィルムにとっては製作・上映にかかるコストを回収し、次回作を創るための命綱。自主上映に取り組むことで、いせフィルムを支えてもらえたらとてもありがたい。

♪ 春は名のみの風の寒さや
谷のうぐいす 歌は思えど
時にあらずと 声も立てず
時にあらずと 声も立てず ♪
「早春賦」

春よ来い!!!

伊勢 真一